



鈴木 みどり 議員
誠進会

問 1人暮らし医療費支援の周知は

答 分かりやすい表記に改訂

問 福祉医療費支給の条件を具体的に明示しては。

答 (保険年金課長) 今後は、分かりやすい表記にする。

問 認定について、確認事項とその方法は。

答 単身世帯で、同居所で親族などが住んでおらず、本人が非課税世帯であること。

その後、公共料金などが本人名義であること、居住地の名義、または、賃貸契約が本人であることの調査。

問 条件とチェックリストとの関連は。

答 本人からの聞き取りと住民情報・税情報で確認。市外の親族がいる場合、所得課税証明で確認。

問 全て本人名義に何の意味があるのか。

答 親族からの経済的支援を受けていないことの確認のため。

問 配偶者が福祉施設に入所していても条件を満たせば認められるのか。

答 該当しない。

問 配偶者や他の親族では

認められないのか。

答 経済的援助が推定されるため。

問 紙に書かれた名義が実態確認となるのか。

答 本人が支払った確認になる。

問 市・県民税が非課税でも、給付は受けられないのか。

答 配偶者がいる場合は、1人暮らしと認定しない。

問 社会通念上、夫婦間の協力扶助義務と考えるが、市の考えは。

答 夫婦間で生計は同じものから、同居・別居にかかわらず1人暮らしの認定はしない。



問 県道弥富名古屋線道路工事進捗は

答 県に早期の完了を要望する

問 工事が遅れるのはなぜか、予測はできなかつたのか。

答 (土木課長) 鉄道近接工事特有の施手順や、事務手続きなどの調整に不測の日時を要し、工事着手が12月以降と遅れたため。

問 今後、工事は予定どおり進めていけるのか、それとも遅れていくのか。

答 工程などの見直し検討を行い、一日も早い供用開始を目指し、鋭意事業を進めていく。

早期の事業完了を県に要望していく。



▲供用開始されれば、市内の道路ネットワークの利便性の向上が期待される県道弥富名古屋線工事予定地